

新潟の輝く未来のために 会員の皆様の活力強化に向けて！  
 ～平成31年新年祝賀会を開催～

新年祝賀会を1月5日、ANAクラウンプラザホテル新潟において約1,100名の参加を得て開催しました。国歌斉唱に続き、福田勝之会頭が、新潟を盛り立てていけるよう、商工会議所運営に努めてまいりたいと挨拶を述べました。花角県知事、中原市長、地元選出国会議員の祝辞や三村日商會頭からの祝電披露の後は、古町芸妓連の祝舞や賀詞交換で盛り上がりました。

〈福田会頭挨拶〉

皆様、あけましておめでとございます。年頭に当たり謹んでご挨拶申し上げます。

本日は新潟商工会議所新年祝賀会に花角知事、中原市長、国会議員の皆様をはじめ、ご来賓の皆様、そして会員の皆様、合わせて1,100名を超える大勢の方からご出席を賜りました。心から御礼申し上げます。



挨拶をする福田会頭

さて、景気は緩やかな回復基調と言われる中、地方経済はまだ回復の実感に乏しい状況が続いております。今年こそは実効性の高い経済財政政策の推進と企業の自助努力ができる環境をつくっていただき、ひとつでも多くの課題が克服され、地域経済が活気溢れる年となりますことを強く望んでいくところでありたい。

新潟においては、今年1月1日に新潟港開港150周年を迎えましたが、本年も様々なイベントが行われます。新潟を国内外にアピールするまたとない年となりますので、皆様と一丸となって新潟を盛り立ててまいりたいと思います。

私も新潟商工会議所は時代の変化を的確に捉え、地域の中小・小規模企業の皆様のお役に立てるよう、経営支援をより一層強化し、「ICT活用等による生産性向上」や「円滑な事業承継のための相談と後継者育成」、「創業相談」や「新市場・販路開拓」など様々なニーズにきめ細かく対応してまいります。



会員増強を呼び掛けるパワーアップ5000推進委員会

また、中心市街地の活性化に関しては、地元商店街や行政の皆様と連携し、食や芸妓文化など新潟の魅力発信に取り組んでまいります。

新潟の拠点性を高めるためには、港や空港の機能強化に向けて取り組むとともにインバウンド対応の強化など観光振興にも力を注いでまいります。

そして、今年も引き続き、会員増強運動を活発に行ってまいります。5,000会員の早期達成のため皆様のさらなるお力添えをお願いいたします。

結びに、本日出席の皆様のみならずのご繁栄とご健勝をお祈り申し上げます。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

2020年の新年祝賀会は、1月7日(火)に開催いたします。

業績拡大につき協力会社様大募集！

新潟工場(北蒲原郡聖籠町東港6-5516-3)でユニットハウスの生産業務(板金・溶接・塗装・工場内作業など)をしていただける協力会社様を募集しています。

〈会社概要〉

設立:1969年12月5日、従業員数:約1,300名  
 売上391億円、経常利益53億円(2018年3月期)で業績拡大中!  
 事業内容:ユニットハウスの製造、販売、レンタル

〈契約形態〉

工場内業務請負による生産業務

安定した仕事・事業拡大・新規参入(異業種歓迎)をお考えの会員様はまずはお気軽にお問い合わせください!工場見学も随時受付中!

お問い合わせ:三協フロンティア株式会社(JASDAQ上場)

0120-952-771(月-金9:00~17:00)

<http://www.sankyofrontier.com/>

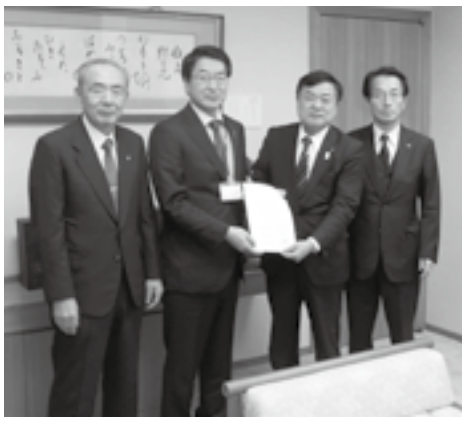


**3 商工会議所（新潟・新津・亀田）合同で  
新潟市の政策に対する要望書を提出**

12月18日、当所と新津、亀田の3商工会議所は合同で、中原八一・新潟市長ならびに永井武弘・新潟市議会議長に対し、「2019年度新潟市の政策に対する要望書」を提出しました。

今回も昨年度同様、「地域中小企業・小規模事業者の活性化・生産性向上に向けた支援策の充実・強化」と「まちづくりの推進」、「政令指定都市・新潟の拠点性の向上に向けた積極的対応」を要望の3本柱として項目に掲げています。

要望書を受け取った中原市長は「要望については商工会議所と力を合せて可能な限り取り組んでいく。中・長期にわたる課題についても、商工会議所から力をいただき全力で取り組んでいきたい」と語りました。  
(重点要望は以下の通り)



要望書を手渡す福田会頭

1. 地域中小企業・小規模事業者の活性化・生産性向上に向けた支援策の充実・強化
  - 中小企業・小規模事業者は雇用の確保、各種納税などを通じて地域経済の発展に極めて重要な役割を担っており、経営基盤の強化、経営の持続的発展を支援するため、以下の点について対応されるよう要望いたします。
  - (1) 地域を担う中小企業・小規模事業者の事業承継対策の推進
  - (2) 創業サポート事業における子育て女性・シニア支援枠の創設
  - (3) 地域中小企業への支援策の強化と市独自の中小企業対策予算の拡充
  - (4) 中小企業の資金調達の円滑化に向けた金融支援
  - (5) 中小企業の生産性向上に向けた特別措置法の周知及び活用促進
  - (6) 地域の雇用創出に向け積極的に取り組む企業に対する支援強化・拡充
  - (7) 国家戦略特区（農業特区）の効果を活かした地域の新しい価値の創出
2. まちづくりの推進（主に中心市街地活性化関係）
  - 新潟市の「顔」となる中心市街地におけるまちづくりの推進に向け、以下の点について対応されるよう要望いたします。
  - (1) 行政機能のまちなかへの回帰等を契機とした中心市街地活性化事業の推進
  - (2) 新潟市の「顔」となる古町地区の活性化

- (3) 中心市街地の居住人口及び就労人口増加に向けた支援
  - (4) ICTを活用したまちづくりの推進
  - (5) 都心機能を高める新交通システム整備計画の早期実現
  - (6) 古町花街を活かした観光文化拠点施設等の整備推進に関する取組強化
  - (7) 花街文化・伝統芸能技能承継と広報活動に対する支援拡充
  - (8) 新たな工業用地の開発スケジュールの前倒し
  - (9) 住宅用地の不足解消
  - (10) 新駅の設置等について
  - (11) 「鉄道の街にいつ」復活を目指した諸活動への支援
  - (12) 新津駅周辺地域の整備促進
3. 政令指定都市・新潟の拠点性向上に向けた積極的対応
  - 新潟市のさらなる拠点性向上に向け、以下の点について対応されるよう要望いたします。
  - (1) 新潟港の活性化
  - (2) 新潟空港の活性化
  - (3) 新潟駅の整備促進
  - (4) 新潟駅―新潟空港間等のアクセス強化
  - (5) 交流人口の増加等に向けた観光振興・シニアプロモーション事業の推進
  - (6) インバウンド（訪日外国人）誘致・対応策の強化
  - (7) 県産品の輸出促進
  - (8) 産学官金連携による地域産業の活性化
  - (9) 災害に強い安心・安全な都市づくりの推進

※要望書の詳しい内容は当所ホームページをご覧ください。

**英国の女性旅行家  
「イザベラ・バード」を  
テーマに講演会**

新潟開港150周年記念事業として、12月22日、「みなとまちの魅力」再発見」旅行家イザベラ・バードが見た明治の新潟」をテーマに講演会（主催：当所、同事業実行委員会、新潟日報社）を開催しました。参加者200名。

講師で、地理学者の金坂清則・京都大学名誉教授は、バードが、新潟市に滞在した際（1878年）に、雁木通りや堀がある港町の美しさを詳細に描写しているとし、「バードと結び付けた旅（観光）を新潟から提案して欲しい」と呼び掛けました。

同日には、パネルディスカッションや金坂氏がバードの旅路を辿って世界中を撮影した写真展（2月3日まで）も開催され多くの来場者でにぎわいました。



講演する金坂名誉教授